

Evidence for prevention of renal dysfunction associated with primary myelofibrosis by cytoreductive therapy

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2020-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福田, 泰隆 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002453

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2207 号

Evidence for prevention of renal dysfunction associated with primary myelofibrosis by cytoreductive therapy

原発性骨髄線維症に伴う腎機能障害における細胞減少療法による予防効果

福田 泰隆 (ふくだ やすたか)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、今まで不明瞭であった骨髄増殖性腫瘍(MPN)と腎機能障害の関係について大規模コホートを使用して解析し、原発性骨髄線維症(PMF)で有意に腎機能が悪化していること、その中でも *JAK2* V617F 変異を有する患者で腎機能障害が進行し易いこと、さらにハイドロキシウレアによる細胞減少療法加療を受けていた PMF 患者においては腎機能障害の進行が抑制される可能性があることを始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。加えて、初診時の尿酸値が高い MPN 患者は、より腎機能障害が進行し易いという事も初めて明らかにしている。これまでも MPN と腎機能障害との関連を示唆するコホート研究は少数ながら存在していたが、それらの報告は一部の症例で古い診断基準が用いられている点や、初診時ドライバー変異との関連を含めた詳細な解析はされていなかった。本論文は全例で WHO 分類第 4 版(2008 年)で診断していること、詳細な遺伝子解析を行なっていること、さらに症例を初診時に細胞減少療法等が施行されていない未治療患者に限定していることから本研究で得られたデータは学術的価値が非常に高いといえる。さらに本研究で得られた成果は、*JAK2* V617F 変異を有する PMF 患者や初診時尿酸値が高い MPN 患者における詳細な腎機能検査及び細胞減少療法の推奨というメッセージ性を有しており、今後の臨床に影響を与えることが期待される。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。